

I. ごあいさつ

阪神電車は本年 4 月に開業 110 周年を迎えることができました。これもひとえに、長年にわたり当社をご利用いただいておりますお客様や沿線の皆様のおかげでございます。この場をお借りして御礼申し上げます。

昨年度に発生させました踏切道における遮断棒が降下していない状態での列車通過、車両の定期検査周期に係る国土交通省令違反、レール運搬車の脱線は、大きな事故には至りませんでした。当社をご利用いただくお客様や沿線の皆様にご不安を与え、信頼を損ないかねない事案であり、あらためて安全の大切さと安心をお届けすることの難しさを痛感した次第であります。

これらの反省を踏まえ、発生したトラブルから事故対策を講じるだけではなく、従業員全員が列車運行や現場作業での安全に関わる気づきを事故の未然防止に役立てる仕組みとして、各部門で「安全目安箱」を設置し、運用を開始しました。

従前から実施してまいりました安全投資につきましては、施設の保安度向上を図ることで、列車運行の安全性を高め、お客様に安全、快適にご利用いただき、また沿線の皆様に安心いただけるよう、以下の各工事を確実に進捗させてまいります。

○神戸市内の高架化工事：平成 27（2015）年度に下り線（神戸三宮方面行き）を高架に切り替える予定です。

○西宮市内の高架化工事：平成 27（2015）年 3 月に下り線の高架切替が完了し、6 か所の踏切道において遮断時間を短縮しました。

○甲子園駅改良工事：平成 27（2015）年 2 月に上り線（梅田・大阪難波方面行き）ホームを、3 月に下り線ホームをそれぞれ拡幅しました。引き続き、東改札側のエレベーター設置等のバリアフリー化を進め、平成 28（2016）年度の完成を目指します。

○梅田駅改良工事：平成 27（2015）年 3 月に工事着手いたしました。ホームの拡幅を行い、可動式ホーム柵や西改札口へのエレベーター設置を予定しています。

高架化工事につきましては、それぞれ上り線の高架化を一日も早く完成させ、踏切道を除却することにより踏切事故の解消を目指します。また、駅改良工事につきましても、より安全で快適な駅に生まれ変わるよう工事を進めてまいります。工事中、皆様にはご不便とご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、これからも皆様に当社を安心してご利用いただけますよう全役員・社員が一丸となって安全確保、安全性の向上に全力で邁進する所存です。



阪神電気鉄道株式会社
取締役社長

藤原 崇 起

平成 27 年 7 月